

祈り

— 新たな日本の始まりに際し —



今年は天皇の生前譲位による、元号が変わる大きな節目の年となります。

先日、大相撲初場所の観戦に行きましたが、丁度、天皇、皇后両陛下がおいでになり、平成最後の天覧相撲の場に立ち会う事が出来ました。

天皇が入退場される時は場内全員が立ち上がり皆が手を振り、自然発生的に万歳の輪が広がりました。

日本人にとって天皇という存在の大きさを強く感じ、日本という国に生まれた事に、誇りと感謝の念を改めて持った日でした。

天皇は、国事行為のお仕事も多く行っておられますが、一番の使命は「祈り」である事は意外と知られていません。宮中で日本と世界の平和、そして日本国民の弥栄を日々祈っておられ、数々の御神事を行って頂いております。

その高貴で神々しい御姿を目にする時、有難さに感謝し自然と頭を下げてしまうのが日本人だと思います。

近年、あらゆる分野で新たな知識、技術の進化が目覚ましく、才の有る人達や国家が覇を競う風潮も著しくなっています。

そしてそれに遅れまいとして真偽含めた過剰な情報に振り回され、本質的な人間力を地道に磨く事を疎かにし、近視眼的で相対的競争に明け暮れる時代になってきている様に思います。

科学、医学、技術の進化はそれを使う人の人格のレベル如何によって、世の中を良い方向へも悪い方向へも導いてゆく訳で、陛下もおそらく日本人の本来持っている精神文化の高さを失わない事が、日本のみならず世界の平和につながると思っておられるのではないのでしょうか。

新たな元号の発表は四月に行われる様ですが、どういう元号となるか、また、新たな天皇の時代がどの様な時代になるか、今から様々な思いを巡らしておられる方も多い様に思います。

ちなみに

「明治」は 聖人南面して天下に聴き、
 明^{むか}に響いて治^むむ (易経)
 「聖人が南に面して天下の政治を聴けば
 明るい方向に向かって治める」

「大正」は 大^{たい}亨は以て正^{せい}天の道なり (易経)
 「天が民の言葉を嘉納し
 政が正しく行われる」

「昭和」は 百姓昭^{しょう}明にして万邦を協^{きょう}和^わす (書経)
 「人民がそれぞれの徳を明らかにすれば
 万国を繁栄させることが出来る」

「平成」は 地^ち平^{へい}かに天^{てん}成^{せい}る (書経)
 「天地とともに平和が訪れる」

からとったと言われています。

平成の時代の終わる今、改めて心より今上天皇、皇后両陛下に心より感謝の意を強くすると共に、新たな時代が心の豊かさを失わない中で科学技術が健全に発達してゆく時代になってゆく事を切に願う最近です。

徳真会グループ
 代表 松村 博史



徳真会グループ10周年記念として平成3年旧新津市秋葉公園 仏舍利塔の脇に「念ずれば花ひらく」の171番目の碑を寄贈した際、眞民先生(当時82歳)が来新され入魂式を行って書かれた詩です。